



躓きを、人生のかけがえのない経験に。

就職活動で経験することは、多くの学生にとって見ることと聴くこと、初めてのことばかりです。世の中にはどんな会社があり、どのような仕事があるのか。働くということはどういうことなのか。自分にはどんな仕事に向いているのか……。知らなかったことが、少しずつわかるようになる。自信がついてくる一方で、まざまざと「現実を思い知らされる」ことも多いものです。

就職活動を進めていく中で、嫌でも現実と向き合わされる学生たち。「挫折」や「躓き」といった感情を抱く学生も少なくないようです。しかし、躓いたからといって、そこで立ち止まったままではいけません。躓いた学生を励まし、再び自分の目指す道をしっかりと歩んでいけるよう背中を押してあげるのが、私たち大学と、そして保護者の皆さんの大きな役割です。

秋、3年生は本格的な就職活動へと足を踏み入れます。「躓いても、また前へ」。小さな躓きを嘆き続けるのではなく、それを大切な人生の経験に変えられるよう、私たちも保護者の皆さんとともに学生を支えていきたいと思っています。
※写真は、今年の「24時間テレビ・愛は地球を救う」で本学の学生がミノ倒しに挑戦した時の模様です。

P.S. 就活中

Parents&Students communication guide

日本福祉大学 就職キャリア開発機構

Vol.9



2010年9月発行